

発行所

第 84 号

大阪市史跡
龍溪禪師墓所 灵龜山

九島院

〒550-0022 大阪市西区本田3丁目4番18号
TEL 06(6583)2725 FAX 06(6583)0908

発行者

第廿五代住職

奥田 啓知 (智證)

当院は、阪神なんば線で、なんばから7分です。

『九島院の謎に迫る（その三）』

龍溪禪師と角倉家

九島院開山龍溪禪師については拙誌『龍灯』で「波濤の夢」と題して、角倉了以とその一族を研究されています。吉田周平氏や、日本初の数学教科書『塵劫記』を著した吉田光由を調べている有志グループ「京都吉田光由悠久会」の久下五十鈴氏、龍安寺の伯蒲慧稜和尚の研究で龍安寺事務長・学芸員の岩田晃治氏が、さらに龍溪禪師を私的研究されているサンケイスポーツの長谷川稔記者らが来院されました。

龍溪禪師の出自の謎で、「禪師は京都の角倉了以の娘が阿刀家に嫁ぎ、この娘にできたのが禪師で、禪師は双子の弟として生まれた」との記事です。このことは口伝で、実証することは難しいことだと思っていましたが・・・、龍溪禪師と角倉家との関係について、いろいろと憶測を生む事実も判つてきました。角倉家は、宇多源氏である佐々木秀義の六男の佐々木六郎巖秀が兄佐々木太郎定綱より

近江犬上郡吉田の庄を分かち合い居住し、以後、吉田氏を名乗りました。嵯峨吉田家の家祖徳春は京都に上り、室町幕府の將軍義満・義持に仕えたのち、嵯峨の角蔵に隠居しました。二代宗臨、三代宗忠と続き、宗忠は将軍足利義植に仕え侍医となり、家業の土倉業と酒屋など事業を拡大させました。宗忠は五男一女を儲け、次男の宗桂は、室町將軍家の侍医となり宮内卿法印に叙されました。また、天文八年（一五三九）と十六年（一五四七）に天竜寺船で医師として渡明しています。医師としての名声は高く、明の皇帝世宗の病を治療し、明人より「意庵」と称せられました。その長男光好が高名な「角倉了以」で、父宗桂の土倉業・朱印船貿易・保津川の開削事業を継承、弟の宗恂は父の医業を引き継いで「意庵」を継承しました。了以は二男三女を儲けています。

宗忠三男の光茂の子息は、四男二女の子周庵は医師であり曾孫の光長・光由兄弟は医家で育つて医業を継承するが、算学に精通していました。特に光由は、

『塵劫記』という和算の教科書を著しています。双子の弟の宗栄は東寺執行官忠のもとへ、三男の壽印も出家し、末子の慧稜は叔父の龍安寺養花院壽均の元で出家し、龍安寺十二世妙心寺六十世を歴任された伯蒲慧稜禪師です。龍溪禪師はこの双子の弟の宗栄だと久下氏は主張されていますが禪師の師匠伯蒲慧稜禪師が年下となり事実となっています。

また、龍溪禪師の黄檗宗立宗運動には、明からの亡命説もある隱元禪師の渡来や江戸幕閣への工作活動などに、伯蒲慧稜禪師の出身である嵯峨角倉家の人脉のネットワークが影日向に見え隠れするような気がします。



角倉了以 座像
(大悲閣千光寺)

宝くじ

「買わなきゃ当たらぬ宝くじ」という宣伝文句があります。「買っても当たらぬ宝くじ」と言いたいものです。

今春のこと、初夢宝くじの換金に行ったところ、「お客様！高額当たってまっせ！」と思わぬ言葉。周囲の人に聞かれんように、「いくらでっか！」と小さな声で聞くと、「ちょっと待ってや」と別の機械にそのくじ券を入れる。「10万円でっせ！」との声に膨らんでいた気持ちが一瞬に萎んでしまった。

これまで1万円が最高だった宝くじ。宝くじボックスで「高額賞金」を当たっている人を見た覚えもないし、まさか自分が「高額賞金！」と言われるなんて夢ごごちでした。

でも、高額が10万円とは（トホホ）・・・。滅多に当たらぬ宝くじ運を10万円とは。考えば考えるほど腹立たしく、帰宅するなり、家内に「これやるわ！お前の宝くじ」と妻に「高額賞金？」を押しつけました。妻にとって思わぬボーナス。にっこりしたのは言う迄もありません。

宝くじ暦といつても、そんなに熱心に買い続けているわけでもなく、年末ジャンボくじ以外は、思いついた時に買う程度でした。でも今回はなにか当たるような気がして換金日前日に行ったところ、明日とのことで、当日は日課のサウナ風呂の中で当たるとの思いが確信に変わっていました。一千万円以上の当選金を、「盲導犬育成に1頭分の三百万円を寄付、双子を産んだ末っ娘に残りをやろう！」夢は果てしなくサウナを駆けめぐりました。

宝くじ販売員に聞くと、「高額当選者は、みんな、封も切らずに買った状態のまま当選番号の確認に来ている。また、事前に当選の夢を2日続けて見たり、妻が遺言で宝くじの購入を薦めたりと何らかの予兆を感じていた人が多い」そうです。今回も同様に当たるはずはないと、封も切らずにわたしましたし当選の確信も持ちはしました。でも、今回の宝くじを当てたのは妻なのです。くれぐれもお忘れなく・・・」と…。



ご案内

水灯会（お施餓鬼法要）

8月19日（土）午後1時半より

※ご先祖供養。宗旨に關係ありません。
ご回向お申込み下さい。法話：住職

大龜地蔵尊盆

8月23日（水）午後7時より

※大龜地蔵尊埋葬者供養の法要※

墓地管理費のご納付をお願いします。墓参りの折、郵便振込みでも結構です。

編集後記

○金伍拾萬円御寄進（平成廿九年一月十五日）久恒月枝様より、金伍拾萬円の御志納。
○金壹拾萬円御寄進（平成廿九年五月二十日）南正弘様より、金拾萬円の御志納。
☆両志納金は、新造の梵鐘台の費用の一部に使わせて頂きます。有り難うございました。（芳名を）梵鐘台に墨書して顕彰させていただきます。

▼日本の総人口のうち65歳以上は4人に1人を上回る27.3%に達し、女性では初めて3割を超えました。小生も今年満65歳となり、高齢者の仲間入りをしました。
▼寄る年波か身体が弱つてきました。最近はドライアイで涙が出にくくなり眼球が傷つき、目がかすみ、まぶしくて見えにくく困っています。
▼それにくわえ、白内障の症状も進行し、自動車の運転などでは、サングラスをして運転していますが、標識が見えにくく、とうとう眼科の先生のすすめもあり、6月21日に右目の手術を受けることにしました。

▼最近、高齢者ドライバーによる重大事故が相次いでいます。ブレーキとアクセルの踏み間違いやとつさの判断の遅れが原因とのことです。小生は免許取得当時から右アクセル左ブレーキというゴーカート乗りになれているので踏み間違いは全くありませんが過信することなく、盆の棚経を控え心してハンドルを握っていきます。
△2月に寝屋川ハイフマラソン、4月に水都大阪ウルトラマラニック70キロに出場。70キロは7時間37分でゴール。前回よりも30分短縮できました。
△大阪市仏教会・大阪市仏教育年会での周年行事の大役長に任命されました。この一年、忙しくなりそうですが、有難いご縁を頂いたと思って精進します。（副住職記す）

奉 納 便 り